

街中を子どもの学びの場

- ・子どものための学びの場
- ・フリースクールとの連携

地域とともにあり、地域
づくりに参画する学校
～共生社会の中の学校

縄文のビーナスプラン②

地域の特色と教育的財産を生かした小中一貫教育と
探求的な学び

茅野市の働き方改革の具体

児童相談所・警察・
外部機関との連携

学校の取組

地域と共につくる学校

- 1 コミュニティ・スクールの充実 ④ ①⑦
(地域コーディネータによる運営)
 - ・子どもの学びのための支援
 - ・学校施設整備への支援
 - ・見回り(交通安全・不審者) ①
- 2 ボランティアの方による学びの支援 ⑮
- 3 広報資料・ウェブサイトの作成 ⑦

北部中ではコミュニティ・スクールの学習支援部で
よみかせや登山ボランティア、家庭教育支援部
で講演会などを行い、支援していただいています。

働き方改革の核

～学校と教育委員会との役割分担と協働～ 子ども・家庭支援の充実と
子ども家庭への支援・相談は **育ちあいちの** 学校・職員の支援の充実と
⑤ ⑱ 精神的負担の軽減

学校業務の効率化・軽減化

- 1 勤務時間の客観的管理・市教委の把握
- 2 校務のICT化 教師用タブレットとクラウド利用とネットワーク化
- 3 業務支援員の配置 ⑮
- 4 会議、提出物の精選化
- 5 年間計画、日課表の改善(研究、授業準備の時間の確保、定時退庁日の設定)

北部中では年間計画や日課を見直し、教科会や校内支援委員会、特支学年会等の会合
を定期的に確保します。また、5時間授業を計画的に入れて、生徒との対話や学習アドバ
イス等、生徒理解のための時間を確保し、授業づくりや学級づくりの充実を目指します。

茅野市の働き方改革 北部中学校

(① ② ……の番号は裏面参照)

R8. 3

子どものための学校・学級づくり・質の高い授業づくり
～たくましく・やさしい夢のある子どもを育てる～

自分の人生を豊かに
生きる教職員

時間削減の目標

	R6年	R7年	R8年	R9年	R10年	R11年
小学校	35	34	33	32	31	30
中学校	42	39	36	33	30	30

縄文のビーナスプラン①

共生社会をつくり、子どもたちの
多様性を包み込む学校

市の社会福祉部門との連携

教育課程の改善

- 1 1時間単位の授業の弾力的運用
(中学校)
- 2 小学校教科担任制
- 3 教具・教材の共有化

北部中では、教科会等で教材開発や教材研究を行い、
クラウド上での教材の共有を進めます。eライブラリ等、
Web教材の活用も進め、生徒の学ぶ力を伸ばします。

働き方改革への市教委として教育活動への支援

～リードから支援とアドバイスへ～

- 1 読書活動応援センター(読書指導への支援)
- 2 ICTサポートセンター(ICT教育のため
12名を配置) ⑧
- 3 発達支援センターと特別支援教育支援員の
配置(40名)
- 4 公民館等の公共機関による出前講座等によ
る支援

- 5 いじめ対応の学校支援員会 ・アドバイザーの配置 <弁護士、医師、心理
の専門家・学識経験者>
- 6 部活動の地域展開 (土日の部活はR8年度に完全展開 平日の部活動は
R13年度までに完全展開) ⑬
- 7 不登校支援 サポートルームの設立(6サポートルーム、7ミニサポートルー
ム)まなざし 県費1名、市費10名の教員配置
- 8 給食指導、食育への栄養教諭、栄養士による指導 ⑭

教職員のメンタルヘルス

- 1 ストレスチェックの活用
- 2 市独自のストレスチェックテスト
- 3 教職員の相談窓口(育ちあいちの)
- 4 教委による外部相談・医療紹介